

2011年8月9日

アライアンス・バーンスタイン株式会社

## 【臨時レポート】グローバル株式市場の下落について

米国国債の史上初の格下げ後、先週金曜日に続き投資家のリスク回避の動きが拡大し、米国ダウ工業株30種平均が600米ドル以上下落して昨年11月以来初めて11,000米ドルの水準を割り込むなど、8月8日のグローバル株式市場は大きく下落しました。

米国株式市場では、ダウ工業株30種平均の下げ幅は5.6%、S&P 500インデックス、ナスダックについては6%を超える下げ幅となりました。また新興国株式市場でも引き続き同様の動きが広がっており、エネルギー価格の下落を受けて、ブラジルやロシアの株式市場でも、それぞれ8.1%、5.5%の大幅下落となりました。

今回のグローバル株式市場の下落の背景として、欧州ソブリン危機や米国の財政債務削減などに対する欧米各国政府の対応から、政策の有効性や対応能力に対する投資家の不信感が高まり、その結果としてグローバル経済の減速懸念が強まったことがあげられます。そして、問題の根本には、2008年の金融危機への欧米各国の対応から財政状況が悪化する中、当局が政治基盤の弱さから景気回復と財政再建の道筋を明確に示すことができていないことがあると考えます。

欧州では短期金融市場において銀行間金利が上昇するなど、流動性への影響が一部見られはじめています。リーマン・ショック時の学習効果から、各国政府は流動性維持のためのあらゆる対応を取ることが見込まれますので、現時点で流動性が枯渇するような事態に陥る可能性は低いですが、十分に注視すべきと考えています。

一方で、経済及び企業ファンダメンタルズに目を転じると、景気の減速が懸念される米国においても焦点となっている雇用は、徐々にではありますが改善傾向を示していますし、また企業の利益は総じて堅調で潤沢なキャッシュフローを有しており、バランスシートも良好な状況にあります。したがって、資本市場の不安定な状況が長期化して、企業や消費者の心理が大きく冷え込むことがない限り、現在の株価は投資家の過剰反応を反映したもので、長期には大きな投資機会を提供しているとの見方ができます。

今後については、各国政府が具体的かつ効果的な対策について道筋を示すことが出来れば、投資家の心理は好転し、グローバル経済の見通しや企業ファンダメンタルズが見直される形で、株式市場は落ち着きを取り戻し反転する可能性が高いと考えます。

このような状況下、短期的には、8月9日(現地時間)に米国で開催されるFOMCが注目されますが、アライアンス・バーンスタイン\*としては、欧米政策当局の対応と株式市場の反応を十分に注視し、慎重かつ冷静に対応していく所存です。

なお本日の国内株式市場については、グローバル株式市場の下落を受けて大きく下落したものの、午後に入りやや値を戻し、日経平均株価は前日比153.08円安の8,944.48円で取引を終えました。

【主要株式市場の下落率(8月8日)】

	前日比(%)	年初来(%)
NYダウ工業株 30 種平均	-5.6%	-6.6%
S&P500 種指数	-6.7%	-11.0%
ナスダック総合指数	-6.9%	-11.1%
英国 FT100 株価指数	-3.4%	-14.1%
ドイツ DAX 株価指数	-5.0%	-14.3%
フランス CAC 株価指数	-4.7%	-17.9%
ブラジルボベスパ指数	-8.1%	-29.8%
ロシア MICEX 指数	-5.5%	-11.2%

以上

当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており、勧誘を目的としたものではありません。特定ファンドの取得をご希望の場合には当該ファンドの目論見書をご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。下記の内容は、ファンドをお申込みされる際に、投資家の皆様にご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

■ ファンドのリスクについて

アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用するファンドは株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドが投資した資産の価値の減少を含むリスクは、ファンドの受益者に帰属します。リスクの要因については、各ファンドが投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各ファンドの目論見書をご覧ください。

■ お客様にご負担いただく費用:ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります

■ 申込時に直接ご負担いただく費用:申込み手数料 上限 3.15%(税込み)です。

■ 換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金 上限 0.5%です。

■ 保有期間に間接的にご負担いただく費用:信託報酬 上限 1.974%(税込み)です。

その他費用:上位以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的なファンドを想定しています。費用の料率につきましてはアライアンス・バーンスタイン株式会社が運用するすべてのファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。